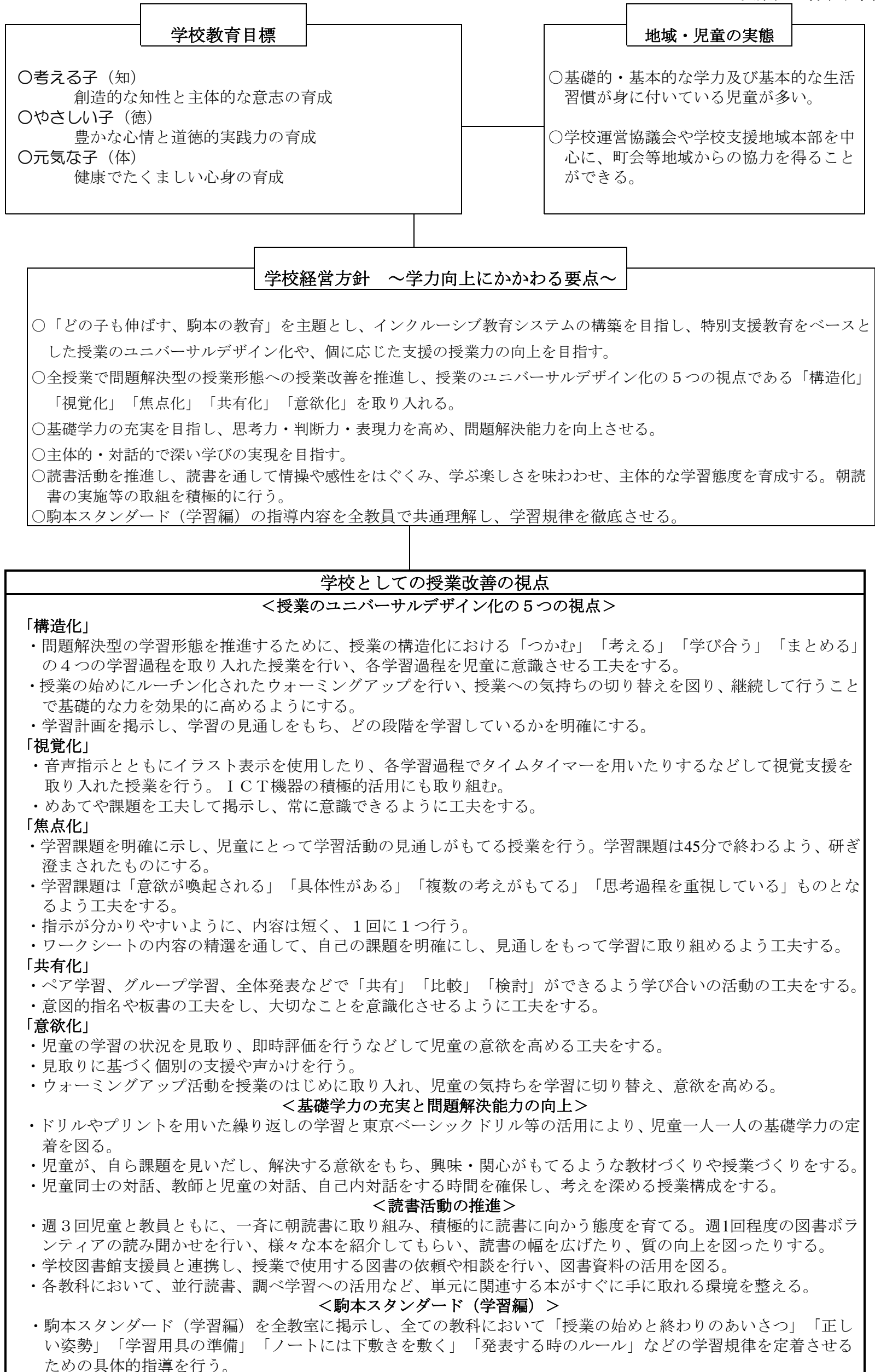


平成29年度 授業改善推進プラン

文京区立駒本小学校



各学年の授業改善の視点

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
国語	<p>○ICT機器を活用して、効果的なウォーミングアップの学習材を取り入れる。</p> <p>○平仮名・片仮名・漢字を正しい姿勢、正確な筆順や字形で書けるよう活動をスモールステップ化・定型化し継続する。</p> <p>○聞く力を育てるために、大事なことを落とさずに最後まで聞き、進んで話せるような「学び合い」の活動を充実させる。</p> <p>○経験したことや想像したこと、自分の気持ちを文章に表現する学習を行う。</p> <p>○経験したことや想像したこと等の話し合い活動に話型を効果的に取り入れて言語活動を随時行う。</p>	<p>○音読や新出漢字を取り入れたウォーミングアップを行っている。</p> <p>○正確な筆順や正しい文字の形で書けるよう視覚化・焦点化した授業を継続し、書き順を示した漢字は教室掲示をし、確認できるようにする。</p> <p>○意図的指名や即時評価をこまめに行い、学習意欲が高まる授業を展開する。</p> <p>○順序を考えた話し方ができるよう話形を示した補助教材を取り入れていく。</p> <p>○既習・新出漢字の定着のために、繰り返し学習を行い、漢字テストにて確認をする。</p>	<p>○ウォーミングアップにて、漢字学習や音読を取り入れ、書く力や表現力の向上を図る。</p> <p>○学習課題や学習ポイントを視覚化・焦点化し、活動の質を高める。</p> <p>○話の中心に気を付けて、自分の考えと比較しながら聞いたり、相手や目的に応じて筋道を立てて話したりするために、自分の意見をもつ時間を十分に確保し、意見交流の時間の充実を図る。</p> <p>○「学び合い」の時間で発表の話型や流れを提示し、話し合いの仕方を身に付けさせることで学び合いの時間の質の向上を図る。</p> <p>○既習・新出漢字を正確に書く力を身に付けさせるために、繰り返し学習を行う。</p>	<p>○効果的なウォーミングアップとして、名文音読や漢字学習、慣用句クイズを取り入れ、基礎的な力の向上を図る。</p> <p>○焦点化された学習課題を提示し、授業の研ぎ澄ましを図る。</p> <p>○根拠（叙述）を明確にして説明させることで、論理的思考力の向上を図る。</p> <p>○伝え合う力の向上のために「学び合い」の時間を特に充実させ、目的に応じた学習形態や話し合いの方法の理解と習熟を図る。また、聞く力と態度の拡充を図る。</p> <p>○意図的指名や即時評価を適切に行い、児童の意欲を高める声かけを行う。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして、音読漢字学習、漢字クイズなどを取り入れる。</p> <p>○考える意欲が喚起される学習課題の焦点化を図る。</p> <p>○目的や場面に応じて話の構成を工夫し、はっきりとした声での確に話す能力を身に付けさせる。</p> <p>○目的に応じ、要旨を的確にとらえながら読む能力を身に付けさせる。</p> <p>○意図的指名や即時評価を適切に行い、児童の意欲を高める。</p> <p>○学習に関連する図書を用意し、並行読書や調べ読みをさせる。</p>	<p>○集中力を高めるために授業の初めに漢字百マスに取り組んでいる。漢字の書き取りを中心としたウォーミングアップを継続していく。</p> <p>○意図的指名や即時評価を適切に行い、児童の意欲を高める。</p> <p>○書く力を伸ばすために、行事ごとに書く機会を設け意欲付けや個別に書く力を伸ばしていく。</p> <p>○聞く力を伸ばすために、話の中心気を付けさせ、自分の考えと比べながら話を聞けるようにする。</p> <p>○定期的に漢字小テストを行うことで基礎的な学力を身に付けさせる。</p> <p>○俳句づくりで季語に合わせた写真を見せるなど、ICT機器を活用しイメージを膨らませやすくする。</p>
社会			<p>○地域社会や地域の人々の生活を見学・調査・体験しその様子や工夫、努力について考え地図や新聞等に表現する活動を重視する。</p> <p>○地図や様々な資料から必要な情報を読み取る活動を多く取り入れ、資料を基に考える力を身に付けさせる。</p>	<p>○ウォーミングアップの中で、都道府県を覚えるミニテストを行うことで基礎的な知識を養う。</p> <p>○「考える」時間では調べ学習を中心に据えて、資料活用能力の向上を図る。</p> <p>○地域の様々な施設やそこで働く人々の働きを知るために、見学や出前授業を充実させ、体験的な学習を行うことで、問題解決能力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、意欲的に取り組ませると共に、理解の促進を図る。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして、都道府県クイズや国旗クイズを取り入れる。</p> <p>○我が国の国土や産業に関する基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味について考える力、調べたことや考えたことを表現する力を身に付けさせる。</p> <p>○学び合い活動を工夫し、考えの深まりや知識のさらなる定着を図る。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして、穴埋めクイズなど意欲を高めるウォーミングアップを取り入れていく。</p> <p>○表現力を高めるために新聞づくりやノートづくりに取り組んできた。さらに工夫を生かすために個別指導や新聞づくりのスキルアップをはかる。</p> <p>○課題を解決するために学び合いの時間を多く取り、課題について具体的に考える力を伸ばす。</p>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
算 数	<p>○集中力を高めるためのウォーミングアップとして、10の合成、たし算や引き算のフラッシュカード、20ます計算等、学習状況に応じて取り入れ基礎学力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を活用し、視覚的支援を充実させ、理解の促進を図る。</p> <p>○学習の理解を深めるため、ブロックなどの半具体物の操作など視覚化やゲーム的な作業など、体験的な活動を計画的に取り入れる。</p> <p>○学習過程の構造化を図り、筋道を立てて自分の考えを書いたり、発表したりする活動を多く取り入れる。</p> <p>○たし算・ひき算の計算の技能を確実に身に付けさせるため、東京ベーシックドリルを活用する。</p>	<p>○算数の授業への気持ちの切り替えや計算力を高めるため、50～100ます計算等を各コースで取り入れる。</p> <p>○学習の理解を深め、思考力を高めるため、数カードや算数ブロック等半具体物の操作活動を計画的に取り入れる。</p> <p>○繰り返しドリル計算プリント、東京ベーシックドリルを活用して、基礎的な学習内容の定着を図る。</p> <p>○「考える」では、自分の考えをまとめ、「学び合う」では、自分の考えを発表したり、友達の考えと共有・比較し、数学的な思考力を高める授業展開していく。</p>	<p>○ウォーミングアップでは、50ます計算を取り入れ、計算力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、授業内容を視覚的に理解しやすくする。</p> <p>○自分の考えを筋道を立てて考えて書く活動を通して問題に取り組む姿勢を育成する。</p> <p>○「考える」では式だけでなく、図や言葉などを使って一人一人自分の考えをノートに書けるよう支援していく。</p>	<p>○ウォーミングアップでは、100ます計算を取り入れ、計算力の向上を図る。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p> <p>○ドリル、学習プリント、東京ベーシックドリル等の活用により基礎学力の向上を図る。</p> <p>○学習問題に対して、既習事項を使った自力解決と自分の考えを表現する活動（ノート作り・発表）を重視した授業を展開して、思考力・表現力の向上を図る。</p> <p>○根拠を明確にして、自分の考えを説明させることで論理的思考力の向上を図る。</p> <p>○個々の力に応じたプリントなどを用意したり、補習を行ったりして個別の配慮を行う。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして、100ます計算などを取り入れる。</p> <p>○既習事項を基に筋道立てて課題解決する力を身に付ける。</p> <p>○ICT機器を活用し、視覚的に数量や図形を捉えさせ、理解できるようにする。</p> <p>○複数の考えが持てるような学習課題の工夫をし、自力思考を基に話し合う力を身に付ける。</p> <p>○ドリル、東京ベーシックドリル等の活用により、基礎学力の向上を図る。</p>	<p>○集中力を高めるために100ます計算などをウォーミングアップに取り入れる。</p> <p>○ICTを活用して、授業内容を視覚的に理解しやすくする。</p> <p>○既習事項を生かして、筋道を立てて考える力を伸ばすために、課題解決的な授業構成を取り入れる。</p> <p>○複数の解法を見出せるような学習問題を設定する。</p> <p>○3人組でのグループ学習を意図的に取り入れ、意見を交流させたり、考えを深めさせたりする。</p> <p>○繰り返しドリル計算プリント、東京ベーシックドリルを活用して、基礎的な学習内容の定着を図る。</p>
理 科			<p>○観察・実験を充実させるために、視点やポイントを明確に記録する能力を身に付けさせる。</p> <p>○自然の事物・現象を比較しながら差異点と共通点を調べる活動を重視し、科学的な考え方を身に付けさせる。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、「フラッシュカード」等を活用することで、基礎学力の向上を図る。</p> <p>○実験や観察などの体験を多く取り入れ、確実な知識を身に付けさせると共に、安全面にも意識させる。</p> <p>○観察・実験の結果を整理し、考察し、表現する学習活動を重視し、科学的な見方や考え方を身に付けさせる。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、意欲の向上や理解の促進を図る。</p>	<p>○実験に意欲的に取り組めるように導入の工夫や教材の工夫をする。</p> <p>○観察力を高められるように、観察の視点や気が付かせたいポイントを明確にする。</p> <p>○考察に用いる用語を明確にし、思考力が伸ばすための文章力を身に付けさせる。</p> <p>○学習に意欲的に取り組めるようにノートづくりを丁寧に行い、観察の記録や結果の記録を意欲的に活動できるようにする。</p>	<p>○実験に意欲的に取り組めるように導入の工夫や教材の工夫をする。</p> <p>○理科支援員やアドバイザーと連携を取り、観察力を高められるような実験を準備し、体験を通して学ばせる。</p> <p>○考察に用いる用語を明確にし、思考力が伸ばすための文章力を身に付けさせる。</p> <p>○学習に意欲的に取り組めるようにノートづくりを丁寧に行い、観察の記録や結果の記録を意欲的に活動できるようにする。</p>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
生活	<p>○活動や体験を多く取り入れ、その楽しさを存分に味わわせる。</p> <p>○活動で気付いたことを表現したり共有化したりできるように、時間の余裕をもった学習計画を立てる。</p> <p>○多様な表現方法を身に付けさせるために、言語活動による表現、絵や図による表現、動作による表現方法など様々な表現方法を取り入れる。</p>	<p>○学習の見通しをもたせて、「つかむ」「考える」「学び合う」「まとめる」の学習過程に沿った活動や観察、体験を取り入れることで学習を深める。</p> <p>○活動の中での気付きや疑問を表現し、全体で共有しできるように学習計画を立てる。</p> <p>○学習が深まるよう、本やパソコンを用いた調べ学習を取り入れる。</p>				
音楽	<p>○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎的な能力を養い、音楽に親しむ。</p> <p>○器楽曲も体を動かして歌い、音楽に十分親しんでから演奏する。</p> <p>○電子黒板を使い、鍵盤ハーモニカの指づかい等を確認する。</p>	<p>○ウォーミングアップの音楽遊びを通して友達と関わりながら基礎的な能力を養い、音楽に親しむ。</p> <p>○器楽曲も体を動かして歌い、音楽に十分親しんでから演奏する。</p> <p>○電子黒板を使い、鍵盤ハーモニカの指づかい等を確認する。</p>	<p>○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキルの獲得に役立てる。</p> <p>○リクエスト曲では、音楽への意欲を高め、楽譜を読むことに慣れるようにする。</p> <p>○楽曲の雰囲気や楽譜からどのように演奏するのかについて思いをもてるようにする。</p>	<p>○ウォーミングアップを通して友達と関わりながら音楽に親しむ。また、音楽スキルの獲得に役立てる。</p> <p>○リクエスト曲では、音楽への意欲を高め、楽譜を読むことに慣れるようにする。</p> <p>○楽曲の雰囲気や楽譜から、どのように演奏するのかについて思いをもてるようにする。</p>	<p>○楽曲の雰囲気や楽譜から、どのように演奏するのかについて思いや意図をもって表現し、それらを共有しながら学び合う機会を多く設定する。</p> <p>○全体発表やグループ学習などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学習形態を工夫する。</p>	<p>○楽曲の雰囲気や楽譜から、どのように演奏するのかについて思いや意図をもって表現し、それらを共有しながら学び合う機会を多く設定する。</p> <p>○全体発表やグループ学習などで「共有」「比較」「検討」ができるよう、学習形態を工夫する。</p>
図工	<p>○図工室でのルールや班活動を定着させる。</p> <p>○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。</p> <p>○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。</p> <p>○クレヨンや粘土に親しみ、のりはさみ、テープなどの道具を正しく使えるようにする。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。</p>	<p>○図工室でのルールや班活動を定着させる。</p> <p>○材料の良さを感じながら自分の想いを広げ、やりたいことを見つける場面を設定する。</p> <p>○造形あそびで様々な物と関わる機会を増やす。</p> <p>○カッターを安全に使えるようにして造形の可能性を広げる。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを伝えられるようにする。</p>	<p>○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。</p> <p>○新しい道具や材料として釘、金づち、のこぎりを安全に使えるようにして、造形の可能性を広げる。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。</p>	<p>○材料の良さを感じたり友達と関わったりしながら自分の想いを広げ、自分のテーマを表そうとする場面を設定する。</p> <p>○新しい道具や材料として彫刻刀を使用する。刃物の扱いには徹底した安全指導を行う。新しい表現を可能にするために、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。</p>	<p>○教師の提案、友達との意見交換(相互評価)など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。</p> <p>○新しい道具として電動糸のこぎりやペンチを使用する。道具の扱いに注意し、安全に楽しく使えるようにして造形の可能性を広げる。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。</p>	<p>○教師の提案、友達との意見交換(相互評価)など活動に関する多くの情報の中から自分に必要な情報を選択し、自分の想いを見つめたり、深めたりしながら自分のテーマを表そうとする姿を育てる。</p> <p>○今までの経験を生かして、材料や道具を選び、技能を生かす応用力を養う。</p> <p>○鑑賞の時間に感じたことを書いたり伝えたりできるようにする。</p>

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
家庭					<p>○ウォーミングアップとして、基礎的な知識の確認や針と糸を使ったトレーニングを行う。</p> <p>○縫い方や切り方の指導は、実物もしくは拡大したものを使って行う。</p> <p>○縫い方や切り方の動画や写真を各自が確認できるような環境を整える。</p>	<p>○ウォーミングアップとして、基礎的な知識の確認や針と糸を使ったトレーニングを行う。</p> <p>○縫い方や切り方の指導は、実物もしくは拡大したものを使って行う。</p> <p>○縫い方や切り方の動画や写真を各自が確認できるような環境を整える。</p>
体育	<p>○本時の学習のめあてや、活動の流れを提示し、見通しや課題意識をもって活動に取り組ませる。</p> <p>○きまりを守り、仲良く協力しながら、安全面に留意しながら活動に取り組ませる。</p> <p>○掲示物によるルールや動きのポイントの視覚化や、友達の良いところを見つける伝え合う活動を通して、意欲的に楽しく活動する。</p> <p>○リズムによる準備運動を取り入れたり、ペア学習等を設定したりして、運動する楽しさを味わわせる。</p>	<p>○規律を守り、協力し合うことで、全員が気持ちよく活動に取り組めるようにする。</p> <p>○学習カードを用いて、毎回めあてをもって活動できるようにし、振り返りを行う。</p> <p>○体力テストの結果を基に走力や投げの力、上げる運動を取り入れる。</p> <p>○ペア活動を積極的に取り入れ、お互いの動きを見合ったり、良いところを伝え合ったりする活動を通して互いに向上しようとする態度を育成する。</p>	<p>○体力テストの結果から、課題となっている投力と柔軟性を向上させるために、ボール投げやストレッチの時間をウォーミングアップ等に取り入れる。</p> <p>○資料や動画を活用し、視覚的に体の動きのポイントを理解できるようにし、自分なりに課題を設定して、めあてをもって活動できるようにする。</p> <p>○共にかかわり合う活動を積極的に取り入れ、継続して運動に取り組む態度を育成する。</p>	<p>○体力テストの結果を基に、特に課題となる項目を伸ばす運動をウォーミングアップの中に取り入れる。</p> <p>○活動の中に、ペア、グループ、チームで学習する場面を取り入れ、「学び合う」活動の充実を図り、協力・公正などの態度を育てる。</p> <p>○学習カードを用いて、自分の力に合った練習方法を選択できるようにしたり、振り返りを行ったりなど、「考える」活動を重視し、個に応じた支援を行う。</p> <p>○養護教諭と連携をしながら、体の発達について適切に理解できるようにする。</p> <p>○ICT機器を取り入れ、視覚的な支援を充実させ、理解の促進を図る。</p>	<p>○集中力を高めるためのウォームアップとして、3分間ランや筋トレなどを取り入れる。</p> <p>○運動の特性を理解させ、身に付けるべき技能などのねらいを、明確にした授業を展開する。</p> <p>○多様な場や練習方法を設定し、個に応じた課題を考えさせ、運動能力を高めさせる。</p> <p>○ペアやグループで話し合ったり作戦を立てたりする活動を取り入れ、協力・公正などの態度を育て、共に成長する集団を育成する。</p>	<p>○運動会や連合運動会などの行事においても具体的な技能を伸ばせるように、学習カードに具体的な技能ポイントを明確にしていく。</p> <p>○学習カードに技能ポイントを取り上げ、めあてを具体的にもてるようにする。</p> <p>○多様な場や練習方法を設定し、個に応じた練習計画を立てられるようにする。</p> <p>○準備に協力したり、きまりやルールに従ったりできるような態度を育成する時間を取る。</p>